

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジエ城陽寺田Ⅱ	階数	地上7F
建設地	京都府城陽市寺田水度坂15番9	構造	RC造
用途地域	近隣商業、準防火、4種高度、特定大	平均居住人員	164人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,736時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年6月4日
敷地面積	1,886㎡	作成者	増倉稔明
建築面積	711㎡	確認日	2022年6月4日
延床面積	4,083㎡	確認者	藤原武士



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★ ☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2 (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 84%
- ③上記+②以外の: 84%
- ④上記+: 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性に優れ、環境に配慮した住環境。 		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装材にはすべてF☆☆☆☆製品を使用。 外皮は断熱等性能等級4相当。 住戸アルミサッシはT-2仕様。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 躯体は劣化対策等級3相当。 耐用年数の長い給排水管使用。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 外皮は断熱等等級4相当。 一次エネルギー消費量等級4相当。 太陽光発電設備設置。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> クロスのり等有害物質を含まない。 ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材(汚染物質回避)。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 光害の抑制に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される